

実施日：7月8日（1校時）	
領 域：特別活動	
取組名：若者の適切なネットの利用方法	
対 象：2年生	実施場所：2年1組～4組各教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットの長所と短所を考えさせると共に、ネット依存の恐怖について考えさせる。 ・ 個人情報の取り扱いについて知らせる。 ・ 現実とネットのコミュニケーションの違いを考え、ネット上でふくらむ暴言の恐ろしさや誹謗中傷について考えさせる。 	
<p>イ 指導内容(指導略案)や取組の概要</p> <p>7月3日の講演(兵庫県情報セキュリティサポーター 篠原嘉一さん)から学んだことをもとにして、正しい利用について考えていった。</p> <p>2013年3月に若者の適切なインターネット利用推進啓発のために千葉県環境生活部県民生活課が制作したDVD「インターネット×リアル」[別紙⑩]を利用した。</p> <p>[指導過程]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月3日の講演の感想から、多くの意見を知る。 ・ ネットのメリットとデメリットを考え発表する。その後DVDの街頭インタビューの意見を聞く。 ・ DVDを見て考える。 <p>①インターネットと個人情報 ②いじめ ③依存 ④不当請求 ⑤高額請求 ⑥情報発信 ⑦家庭内でのルールづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ より良いコミュニケーションを築く手段として適切な利用について考える。 	
ウ 連携先：保護者	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <p>篠原さんの講演会や、学活で学習した「大人が知らない若者のネット等 SNS の危険な利用の仕方」、さらに家庭内でのルールづくりなどの内容をまとめ、学年通信や学級通信から家庭に発信していく。さらに夏休みなどの長期の休みに入る前に、生徒指導から発行される通信でも携帯電話等の利用についての注意を呼びかけるので、保護者との懇談会で担任より伝えていった。</p>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <p>道徳においてネットによる暴言やいじめなど人の心に問いかける内容に取り組み、総合的な学習の時間には専門的に詳しく使い方と危険について知るために外部講師(情報セキュリティサポーター)と連携した。さらに、昨今の SNS のトラブルが犯罪に結びついている実態を篠山警察の方から話をさせていただいて、それぞれの取組の時期を近づけ関連して考えていけるようにした。また、QUテストを実施し、ネットだけでなくいじめに悩んでいないか、信頼できる人がいるか、学校生活が楽しいかなどの様々な心の変化を見るために10月と2月に実施し、教育相談等でも利用するようにしている。</p> <p>また、生徒会、教職員と全保護者は当番制で6月、9月、1月の朝、あいさつ運動を実施し、生徒一人ひとりと声を交わしていく運動を行っている。</p>	
<p>カ 評価の方法</p> <p>授業での意見集約やアンケート等を通して生徒個人のネット環境を把握する。</p>	
<p>キ 成果</p> <p>情報機器利用における SNS のまがった利用方法を知って、設定の変更をしたと伝えてくる利用者が多くでてきた。さらに教師に相談する生徒もでてきた。</p>	
<p>ク 課題</p> <p>夏休み前であったので一時期にまとめて学習を進めた。その時期には生徒の意識も高かったが、説明の理解に個人差もあり、自分に都合の良いように解釈して間違った利用をしている生徒もいる。ただ、実態は正確に学校だけでは把握しにくい。時間がたつと友達とのコミュニケーションのツールにスマホの購入を求める生徒は増えており、さらには昼間に眠気を感じている生徒が夜中にネット等に依存しているのではないかと感じられる面もあるので保護者と連携し、継続して学校でも取り上げていくことが大切である。</p>	